

令和 8 年度 神栖市総合計画及び総合戦略等進捗状況評価会議 議事録

- 1 日 時 令和 8 年 8 月 6 日（木）午後 1 時 2 5 分～午後 3 時 1 0 分
- 2 場 所 神栖市役所 5 階 5 0 1 会議室
- 3 出席者 委員 6 名（全員出席）、事務局 1 3 名 ※別添名簿のとおり

4 会議内容

会長及び副会長の選任

学術界（筑波大学）委員が会長、産業界（波崎水産加工業共同組合）委員が副会長として選任された。

議 事

（１）第 3 次神栖市総合計画の進捗状況について

【事務局】資料 1 に基づき説明

発言者	内容等
【総 論】評価基準の設定について	
委 員	全体的に評価基準が甘いと感じるが、評価の深掘りなどが必要ではないか。市民のニーズと合っていないように感じるがいかがか。
事務局	第 3 次計画の評価基準については、年度間の比較のため現行のままを進めていく必要が有るが、現在策定中の第 4 次計画の評価を実施する際には、基準の見直しや内容の深掘りができるような手法を検討していく。
【総 論】第 3 次計画策定時の審議会委員へのフィードバックについて	
委 員	この評価の内容を第 3 次計画策定時の審議会委員にもフィードバックをした方が良いのではないか。
事務局	現在のところ、評価結果については当時の委員の方へ個別にお知らせをしてはいなかったが、今回の会議の結果も併せてお知らせをしたいと考えている。
【総 論】D 評価について	
委 員	D 評価は改善可能なのか。外部環境の要素が大きい KPI の設定の見直しが必要なのではないか。
事務局	D 評価については、ご指摘のとおり、環境の変化であったり、少子高齢化や経済状況の悪化によるものも散見されることから、第

	4次計画では、目標設定の見直しについて、委員の皆様のご意見をいただきながら、担当課と検討を進めていく。
【K P I】大綱1 - 医療関係	
委 員	医療に関する取組については、県や医師会を通じて広域での取組が必要なのではないかと考えている。
事務局	医療施策について、第4次計画に広域連携に関する取組を盛り込みたいと考えている。
【K P I】大綱1 - 医療関係	
委 員	生活に密接な医療については、関係者と共に具体的な工程で改善を図っていく必要があるのではないかと考えている。
事務局	課題解決に向けて、医療関係者と密接な協議を重ねることは、担当課の方でも既に動いている所ではあるので、直ちに解決は難しいところではあるが、改めて少しでも前に進めていけるように取り組んでいく。
【K P I】大綱2 - 廃棄物対策関係	
委 員	ゴミ問題の評価が甘いのではないかと考えている。目標設定は排出量ではないと考えるがいかがか。
事務局	こちらの指標については、第4次計画については、排出量だけではなく、新たな視点での指標の導入を検討する。
【K P I】大綱3 - 観光関係	
委 員	スポーツツーリズムについて、もっとコンテンツを充実させたり、他市の地域資源も活用しながら、さらにもう一泊を目指せるような取組も必要である。今後の評価については、角度を変えた評価を取り入れた方が良いのではないかと考えている。
事務局	本事業については、宿泊数や大会数など、設定している目標に対して順調に推移しております。第4次計画では、いただいたご意見を参考に、新たな視点による評価指標の導入について検討を進めてまいります。
【K P I】大綱4 - 上水道関係	
委 員	水道管等の老朽化を見据えた管理システムなどの構築はできているのか。
事務局	水道課では既に運用されております。
【K P I】大綱6 - コミュニティ・定住関係	
委 員	住宅、コミュニティは件数だけでなく利用率、到達率、満足度などの指標も必要ではないかと考えている。

事務局	少子化や人口減少などの社会情勢を踏まえた評価についても見直しが必要であると考えている。第4次計画では、必ずしも件数だけによらない評価値について検討を進めていく。
【K P I】大綱7 - 広報・広聴関係	
委 員	情報発信力が甘いのではないか。地区や子供会への情報提供はしているのか。HPについても見にくいと感じている。
事務局	担当課と共有して、今後のあり方について更なる検討を進める。
【K P I】大綱7 - 行政運営関係	
委 員	デジタルが苦手な人の対応をしているか。
事務局	高齢者などのデジタルになじみのない方については、担当課においてスマホ講座等を実施している。
総 括	
会 長	全体としては、概ね順調であると理解はしたが、各委員の指摘のとおり評価基準やK P Iの設定については、今後検討が必要である。現在策定中の第4次計画には、審議委員との協議に加え、本日の指摘事項も踏まえながら策定を進めてもらいたい。

(2) 令和7年度デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業の評価について

【事務局】資料2に基づき説明

発言者	内容等
3 ページ 評価シート	
委 員	交付金は使い切ったということによろしいか。
事務局	本交付金の対象事業は本体工事費であり、実績額の546,700千円は「息栖にぎわいテラス」の建設費にあたる（建設は終了しているため、交付金は全額受領している）。
【K P I ④】拠点施設の来訪者数	
委 員	今後、イベントなどを実施する際は、市が行うのか指定管理者が行うのか。
事務局	指定管理者はもちろんのこと、地域団体や行政も含めて積極的に同施設を活用し、様々なイベントを展開していきたいと考えている。
【K P I ④】拠点施設の来訪者数	
委 員	東国三社参りなどの発信力を高めていただきたいと思っている。新しいプランニングがあればご紹介いただきたい。

事務局	旅行者は単一の行政区内だけで完結せず、その周辺地域を回遊して周遊する傾向がある。そのため、神栖市、鹿嶋市、潮来市、香取市の4市で構成する「東国水郷観光推進協議会」において、広域的な連携による東国三社事業に取り組んでいる。同協議会の中では、インスタグラムを活用したPRやインバウンドを意識した観光プロモーション動画の作成を行っているほか、昨年度は4市を巡る「東国三社巡りバスツアー」を実施した。こうした取り組みを通じて、今後も広域で連携した周遊の仕組みを整えていきたい。
【K P I ①】 地域における観光消費額	
委員	息栖神社だからという誘客のメインとなる食べ物があるといい。香取神宮でいう厄落とし団子のようなもの。 また、テレビ等のメディアへの呼びかけ等があればいいと思う。
事務局	指定管理者と協議を重ねながら調査研究を進め、同施設の名物となるような料理や特産品を作り上げていきたい。
【K P I ②】 息栖神社周辺滞在時間 ※ご意見のみ	
委員	今後、観光客を定着させるためには、地域全体での回遊性を高める工夫が必要である。周辺にある「船だまり周辺広場」や常陸利根川などとの繋がりを意識した動線作りを行い、再度訪れたいような仕組みを構築することが重要である。 あわせて、市外からの来訪客やリピーターがどれくらい訪れているかというデータ視点を持つことも有益である。 同施設はグーグルマップ等の口コミにおいて非常に高い評価を得ている。こうしたネット上の口コミや評価を参考に訪れる人は多いため、今後も評点がさらに上がるような、満足度の高い取り組みを継続していただきたい
【K P I ①】 地域における観光消費額 ※ご意見のみ	
委員	これまで地元にはこのようなアンテナショップ機能を持つ施設がなかったため、地元の事業者からは「自らの商品をPRできる貴重な場ができて非常に良い」という歓迎の声が上がっている。 また、施設内の「ゆうひ食堂」という店名に合わせ、現在の18時までの営業時間を例えば19時までにするなど、夕日の時間帯に合わせて延長することを検討してはどうか。
総 括	
会 長	今回の進捗報告において指標数値は達成しているものの、本目標は今後も段階的な増加を目指す設定となっている。そのため、営

	業時間やイベントのあり方等も含め、より多くの利用者を呼び込むための新たな工夫や多角的な検討を継続されたい。
--	---

(3) 令和7年度地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業について

【事務局】資料3に基づき説明

発言者	内容等
企業への周知について	
委 員	企業版ふるさと納税の周知はどのように進めているのか伺いたい。
事務局	今年度の当初に各コンビナートの幹事会社を通じて、立地企業にチラシ配布を行った。さらに、関係会議に職員が出向いて説明したほか、市長が企業を訪問してアピールを行った。
市長のトップセールスについて	
委 員	企業とパートナーシップを築くことは、災害時などの連携強化にも繋がるので、ぜひ進めていただきたい。市長のトップセールスにも期待している。
事務局	現在も、市長を先頭にトップセールスを展開しており、令和8年度は、現時点で2社から1100万円の寄附の申し出をいただいたところ。引き続き募集活動を進めていく。
継続的な企業の支援を必要としている事業について	
委 員	継続的な企業の支援を必要としている事業があれば伺いたい。
事務局	例えば、松の植樹事業が挙げられる。海岸防災林の松は、松くい虫の被害などで枯れるものもあり、継続的に植樹していく必要があるため、企業の皆様からの支援をお願いしたい。企業版ふるさと納税制度は、財源確保という側面だけでなく、事業の意義を市民にPRできることも利点であると考えている。
企業へのフィードバック、継続的な事業の経費について	
委 員	寄附企業にどのように事業の成果をフィードバックをしているのか伺いたい。また、コミュニティバス運行事業などの継続的な事業の経費に寄附金を充てているが、市では財源の安定性をどのように考えているのか伺いたい。
事務局	寄附をいただいた後も、企業とコミュニケーションを取っており、その中で事業の実績や成果を共有している。また、継続的な事業については、仮に寄附がなかった場合でも実施が可能な体制を取っている。なお、コミュニティバス運行事業では、企業名入

	りのバスラッピングを実施しており、今後も魅力ある企業ベネフィットを提供していくことが寄附の増加や継続性につながると考える。
寄附実績の公表について	
委 員	寄附実績をどのように公表しているのか伺いたい。公表することで、企業のメリットに繋がるので、積極的に取り組まれない。
事務局	寄附実績は、市ホームページに掲載している。企業からの要望により、寄附額を非公表としているものもある。
総 括	
会 長	企業版ふるさと納税制度は、企業と市の関係の中で完結させるのではなく、事業の効果などを市民にもフィードバックすることで、より大きな意義を持つと考える。 事業報告からは、いずれも地方創生に有効であったと伺えるが、いかがか。 それでは、いずれの事業も「有効であった」と評価いただけたということでまとめさせていただく。

(4) その他

【事務局】来年度の開催予定について説明

閉 会

以上